



「ポジ育」とは…
一人一人の子育てを今より少しでも楽しく、前向きに取り組めるよう、ポジティブに育児に関わることを願って付けた名前です。

ポジ育通信 ②

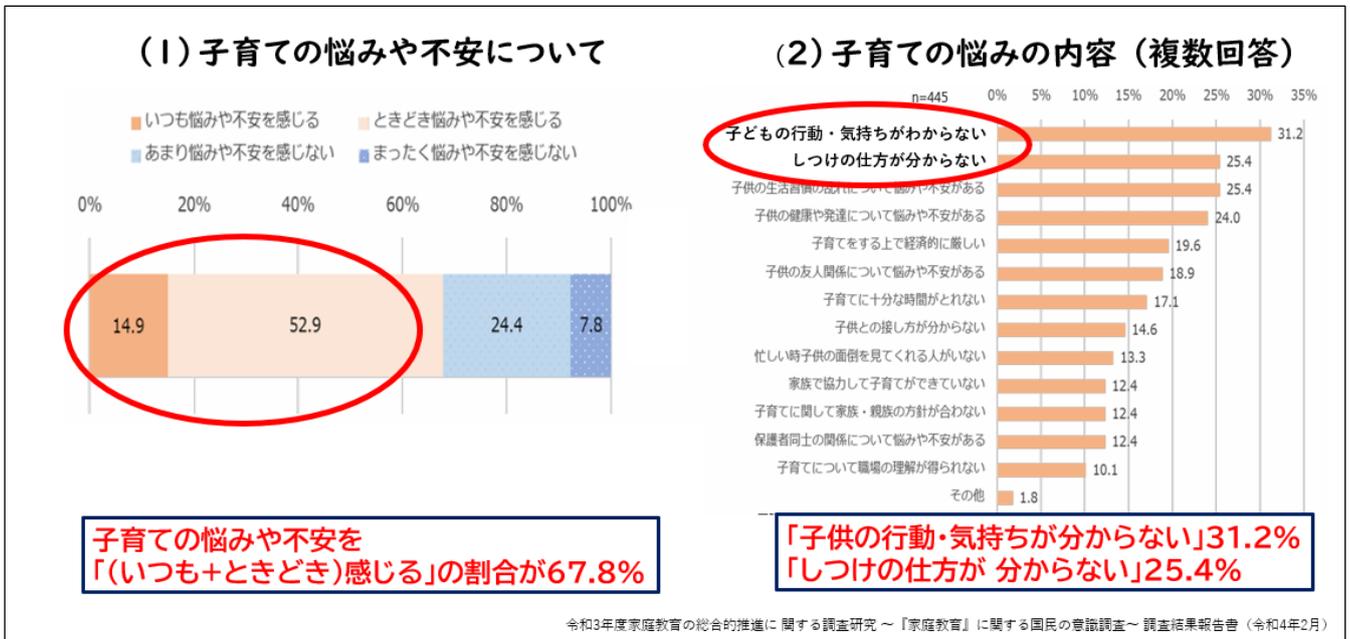
R6.10.7 子育て委員会 副会長：藤原/教頭：藤原

難しい…子どもとの関係

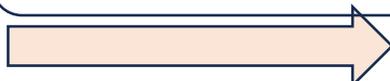
学校で出会うお母さん方との会話で、「最近、子どもが何を考えているか分からない。」「何も話してくれない。」など、子どもとの関係に悩んでいるというお話を聞きます。実際に私も、子どもが小学校高学年ごろから未だにこの悩みと共に生活しており、現在進行中の悩みです。

そこで今回はポジ育通信を通して「子どもとの良好な関わり方」について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

「家庭教育」に関する国民の意識調査では、約 7 割の親が悩みや不安を感じており、「子どもの行動・気持ちが分からない」「しつけの仕方が分からない」ことで悩んでいることが分かります。そして、多くの調査から、親の養育態度を子どもがどのように認知するかによって、子どもの学校適応、将来の幸福感、自尊感情などに大きく影響することが分かっています。



・私の話を、ちゃんと聞いてくれる。
失敗しても励ましてくれる。
・一緒に悲しんだり喜んだりしてくれる。



・いつも僕の話がさいごまで聞いてくれない。そして最後に叱られる…。
・困った時、助けてもらえない。
「だから言ったでしょ。責任は自分でとりなさい。」
なんだか、僕の事ほったらかしだなあ…

大切なことは、「親の養育態度を子ども自身がどのように受け止めているのか」ということ！！自分（親は）子のためにしっかりと養育しているつもりでも子がその思いを受け止めていないと良好な関係が築けないのです！

子どものホンネ…教えます

4月下旬に岐阜大学大学院への研究協力として調査させていただいたアンケートの結果(別紙:親と子のつながりアンケート結果)をベースに我が子との関係を振り返ってみましょう。(但し、都合によりアンケートへの回答を辞退された方の親データは存在しませんのでデータの返却ができません。お子さんも同様、欠席等でデータが存在しない場合は別紙資料がございませんのでご了承ください。)

アンケート内容

このアンケートは学校でお子さんも回答をしています。同様に保護者の方も回答をして下さっている場合、自分(親)の点数と子どもが感じている親に対する点数を比較することができます。

*5件法(1全くあてはまらない 2あまりあてはまらない 3どちらともいえない 4ややあてはまる 5ひじょうにあてはまる)で回答してもらいました。

*注意:保護者の方は無記名(子の出席番号のみ記入)で回答してもらっています。よって、保護者の特定は、子の出席番と紐づけているため、お子さんの出席番号が正しく入力していない場合は、ご自分の回答でないデータになる場合があります。ご了承ください。

1. 子どもが悪いことをしたら、叱る
2. 子どもが友だちを家に連れて行くと喜んで迎える
3. 一緒に喜んだり、悲しんだりする
4. 学校に遅刻しないように言う
5. 約束を守るように教える
6. 毎日、興味や関心をもって、子どもの今日の出来事を聞く
7. 子どもが聞いたことに対してきちんと答える *(分かるように・丁寧に)
8. ありがとうやごめんなさいを言うように言う
9. 悩みごとを真剣に聞く
10. 色々な所に連れて行く
11. 子どもがちゃんとできた時や、頑張った時にはほめる
12. うそをつかないように教える
13. 食べ物の好き嫌いをしないように言う
14. 子どもが失敗した時、「次はがんばろう」と励ます
15. 必要な時はできる限り一緒にいる *(子どもと一緒にいたいといった時)
16. 子どものことに一生懸命になる。

【アンケートの内容に関する補足説明】

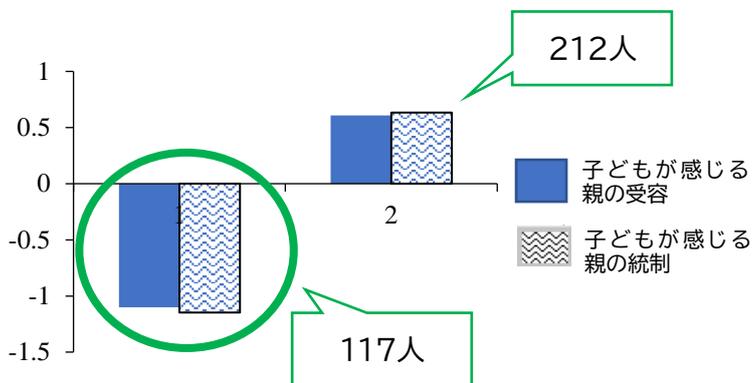
*オレンジのグラフは「統制的な関わり」に関する質問項目です。統制≠厳しいしつけではなく、親の責任として、子どもに関して関心を示し、様々な場面で最後まで温かい目でお子さんを信じて見届けたり見守ったりする親の関わりの状況です。

*青色のグラフは「受容的な関わり」に関する項目です。受容的な関わりとは、相手の気持ちや考えをそのまま受け入れることです。子どもを一人の人間として尊重し、気持ちを否定せずに、そのまま受け止めている親の関わりの状況です。

全体の結果

下米田小学校全体の結果です。アンケートに答えた児童 320 人分、保護者 126 人分の回答をもとに、分析を行ったところ、以下のような結果になりました。このグラフは、上に伸びれば伸びるほどよく、下に伸びれば伸びるほどよくない結果となります。お子さんや保護者の皆さんはどこのグラフに入っているでしょうか？

子ども 329人分の結果

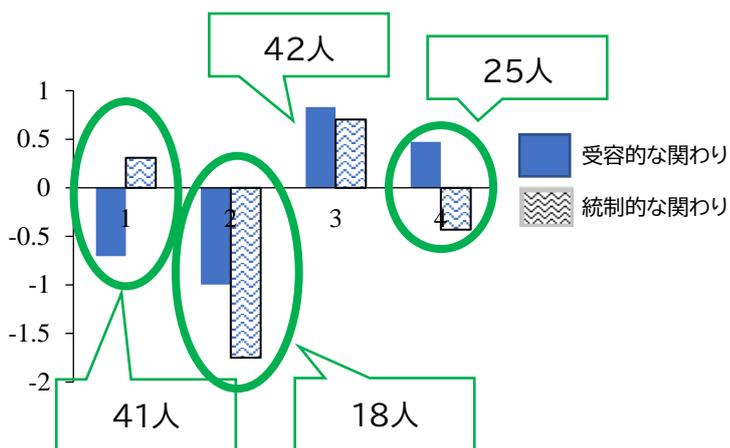


【子の分析結果】

・クラスタ1(117名)に入っている子は、自分の親が自分の気持ちを理解してくれていないなあ…と感じている可能性があります。また、自分に関して関心を示してくれていないかも…と感じている可能性があります。

・クラスタ2(212人)に入っている子は、自分の親はいつも、自分の気持ちや考えを受け止めてくれていると感じています。また、自分の親が常に自分に関心をもって見届けてくれている、納得できるしつづけを親がしていると本人が感じています。

親 126人分の結果



【親の分析結果】

・クラスタ1(41人)は、子に対して受容的な関わりはできていないが、統制的関わりはできていると回答したグループです。

・クラスタ2(18人)は、受容的な関わりも、統制的な関わりも十分にできていないと感じていると回答したグループです。

・クラスタ3(42人)は、受容的な関わりも統制的な関わりもできていると回答したグループです。

・クラスタ4(25人)は、子に対して受容的な関わりはできているが、統制的な関わりができていないと回答したグループです。

我が子の結果は…



ご自分のお子さんが親の関わりをどのように受け止めているのか気になりますよね。そこで、次回、ポジ育通信12号では、お子さんと保護者の回答結果を配布します。その結果をもとに、親子のよりよい関係について一緒に考えていきましょう。

第5回ポジ育サロン「親子のグッドな関係づくり」上記の内容について交流します。運動会予備日10/24(木)15:30~16:30(お仕事終わりにでも参加してください)*帰宅するお子さんを見る、ご家族の方がいない場合に限り、児童の託児を行います。5時間目後、図書室で過ごします。

*アンケートに回答できていない場合はデータがなく、お渡しできませんのでご承知おきください。